



## 子ども福祉委員の活動を 応援しています

今年度から新たに、守山市社会福祉協議会の主導で始まった「子ども福祉委員事業」。市立守山中学校の1年生2名が参加しています。守山市民生委員児童委員協議会（市民児協）は、この事業の全5回の第1回・第3回活動に協力しました。



活動ガイダンス

第1回の活動ガイダンスでは、市民児協の山本会長から、これまでの歴史や現在の活動内容など、民生委員・児童委員の概要を伝えていただきました。また、市民児協の役員が、紙芝居『民生委員・児童委員とびわっ湖ミンジー』を上演しました。子ども福祉委員からは、「私の知らないところで、民生委員が生活を支えてくれているんだ！」という声があり、民生委員という存在を知ってもらう貴重な機会になりました。

第3回は、1日民生委員・児童委員体験として、



紙芝居上演



民生委員体験

子ども福祉委員に見守り訪問を一緒にしてもらいました。「民生委員が訪問先の方に、『顔色が良くなっているね』と声を掛けておられた。相手の変化に気付くことが大切なんだなあ」「見守り訪問でコミュニケーションをとることは、高齢者にとって楽しみの一つになっているんじゃないかなあ」と、子ども福祉委員の中でたくさんの気づきがあったようでした。

来年度以降も、私たちは子ども福祉委員の活動を応援していきます。地域の皆様も、あたたかく見守って下さいますよう、よろしくお願いいたします。



こちらから紙芝居をご覧ください



子ども福祉委員新聞もぜひご覧ください



### 守山市民生委員児童委員協議会

# グループ活動のご紹介

守山市民児協では委員が3グループに分かれ、任期3年間で「高齢者」「子ども家庭」「障がい者」のすべての分野について学べるよう研修を行っています。

今年度は、グループⅠが「高齢者」、グループⅡが「子ども家庭」、グループⅢが「障がい者」の各分野について学びました。ここでは、各グループが学んだ内容についてご紹介します。



## グループⅠ 高齢者

グループⅠは、学区ごとに施設訪問を行い、①利用料②施設の特徴③虐待・事故等の安全対策④その他について質問しました。

私の所属する速野学区では、サービス付き高齢者向け住宅 杜に見学に行き、質問について下記の通り



体操の様子です



ご回答いただきました。

- ①安心の料金設定
- ②60歳以上であれば見守りと食事付共同住宅に入居出来る。
- ③定期的に職員の研修等を行っている。
- ④利用家族とのコミュニケーションについて、専用ノートでスタッフと家族が情報交換をしている。

短時間でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。 (グループⅠリーダー 松永 栄子)

## グループⅡ 子ども家庭

今回、私は玉津児童クラブ室を訪問しました。

この施設は、保護者が就労等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る施設です。

児童クラブ運営事業者によって雇用されている放



こちらが遊戯室です

課後児童支援員が、日々児童の活動を見守ってくださっており、児童の生活態度は本来の姿が出て、活発に行動していました。

児童クラブの概要などの詳細につきましては、市役所ホームページをご覧ください。

この施設や児童に対し、民生委員・児童委員としての関わり方を考えたいと思っています。

(グループⅡリーダー 谷山 清一)

## グループⅢ 障がい者

8月に、中洲学区にある『特定非営利活動法人(NPO法人) ぷくぷく』を訪れました。施設内の案内に始まり、施設の概要や理念、課題や法人としての願いなどを理事長と所長から教えていただきました。

学区内にあるにもかかわらず、知らないことが多



糸とりをしている様子です

く、熱くざっくばらんに話される姿は、私たちにも刺激になりました。日々、広い視野をもつことや地域福祉のあり方に気づかされ、民生委員・児童委員として活動の広がりや施設との連携の必要性を改めて学びました。

今回の学びを機会に、今後は主催されるイベントへの積極的な参加を心がけ、日常的な交流が深まるように努めたいと思います。

(グループⅢリーダー 中島 洋子)

## ご存知ですか？ 障がい者施設 vol.7

### 社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会 **びわこみみの里**

びわこみみの里は、守山市水保町で2007年に開所してから18年目を迎えます。聴覚障害の方を中心に、現在29の方が通所されており、お菓子作りやミシン作業、内職作業などさまざまな仕事を通して、生き生きとした暮らしの実現や、社会参加をめざしています。

びわこみみの里の商品としては、主力商品であるバウムクーヘンや、地元笠原町の農家さんが栽培された、ショウガを使用したクッキー類を販売しています。また、「百歳体操」でも使っていただける、重りのついた手作りの健康ベルトも好評販売中です。

今後も地域に開かれた、すべての人にとっての「居場所」である施設をめざして取り組んでまいります。今後ともよろしくご厚意申し上げます。



社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会

#### びわこみみの里

守山市水保町165-1

TEL.077-514-9078 / FAX.077-585-7144



### 体験記

## 警察との連携プレイ



見知らぬ男性のメッセージが毎日留守電に入り、怖くて悩んでおられた一人暮らしの女性から相談を受け、守山署に電話しました。すぐ2人の警官が来られて、話を聞くと逆探知機で相手の電話番号を突き止め、署に帰られました。夜に警察から、電話の主は認知症の高齢者夫婦のご主人で、注意しておきましたと報告がありました。翌朝、他の委員から、そのご夫婦のことも心配だから、地域の民生委員に繋いで貰ったらどうかと提案され、警察に依頼しました。「また電話がありました、『間違い電話です』と言えましたよ」と女性に笑顔が戻りました。若い警官の迅速な対応のお陰だと感謝しております。 (河西学区 T. K.)

### 編集後記

コロナ禍は徐々に落ち着きを見せ、世の中も日常を取り戻してきました。それに伴って福祉活動も広がり、深まりが見られるようになってきています。この「しあわせ38号」に取り上げた、「子ども福祉委員」の活動もその一つです。子どもたちが活動を通して福祉について関心を持ち、将来にわたって自ら行動することは頼もしい限りです。民生委員の活動も制限がほぼなくなり、対面での訪問活動も再開されました。若い世代に負けないよう、より一層活動を充実させたいと思います。 (中洲学区 A. K.)